

科目名	保健体育（バレーボール）	英語科目名	Physical Education（Volleyball）	
開講年度・学期	平成 28 年度（前期）	対象学科・専攻・学年	4 年 全学科（全クラス種目選択制）	
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2 単位	単位種類	履修単位	
担当教員	竹崎 一真	居室（もしくは所属）	第 1 体育館 1 階非常勤室	
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン名	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
	1. バレーボールのルールやマナー、基本技術を基にゲームを実践することができる	⑥	B, OE	d-4, f, g, i
	2. 授業時間を通して、チームの仲間等とコミュニケーションを取りながら楽しくゲームを実践することができる	⑥	B, OE	d-4, f, g, i
	3. 授業準備、練習への取り組み、試合運営（審判、得点係等）などに積極的に携わり、練習やゲームを円滑に進行することができる	⑥	B, OE	d-4, f, g, i
4. 『バレーボール』および保健の基礎的な知識について理解・説明することができる。	⑥	B, OE	d-4, f, g, i	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1. 練習中や試合中の動作から基本技術（パス・レシーブ・トス・サーブ等）をチェックするとともに、必要に応じてスキルテストやゲーム記録表、または個人ワークシートなどの内容から総合的に評価する。 2-3. 練習や試合、または自らの試合がない時の様子等を観察することから総合的に判断し評価する。 4. 必要に応じて出題したレポート課題などから総合的に評価する。				
評価方法				
1. 実技点（スキルチェックおよび競技記録、ゲーム・記録測定時のプレー内容）：40% 2. 授業態度（遅刻、忘れ物、服装、授業への積極性など）：50% 3. レポートおよび課題、授業中のワークシートなど：10%				
授業内容				
●授業のガイダンスおよび保健【1 週】 健康とスポーツ・運動について				
●バレーボール【13 週】 ①ウォーミングアップ・クールダウンの方法【1 週】 ②オーバーハンドパス【2 週】 ③アンダーハンドパス【2 週】 ④レシーブトス【2 週】 ⑤三段攻撃（レシーブトス→アタック）【2 週】 ⑥リーグ戦【4 週】 * 班分け、ルール、審判法、ゲームは各週において実施する。また、上記の授業展開は必ずしもこの順序で行われるとは限らない。				
●新体カテスト 5 月下旬～6 月上旬に実施予定				
※以上の授業内容は、天候や進度状況等により一部変更することがある				
キーワード	バレーボール、パフォーマンス向上、コミュニケーションスキル向上、			
教科書	特になし（※講義においては教材を教員が用意する）			
参考書	特になし（※講義においては教材を教員が用意する）			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	保健体育			
現学年の関連科目	保健体育			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
○保健体育は出席することが前提条件である（オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については追加課題を与えるか、評価の対象としない場合がある） 1. 実技中心であるが、最初の授業および雨天時等に保健に関する講義を行うことがある 2. 実技では、学校指定のジャージ、T シャツ、短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。 3. 授業時の無駄な私語、身勝手な行動、途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。				
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 29 日作成			